

国土のグランドデザイン2050（平成26年7月4日公表）（抜粋）

6. グランドデザイン実現のための国民運動

以上のように、2050年を見据えた国土のグランドデザインを策定し、目指すべき国土の姿やそのための国土づくりの理念、基本戦略等について示した。冒頭に述べたように、今後、本グランドデザインを素材として、我が国の未来の国土や地域の姿について、国民の間で活発な議論が展開されることを目指す。

その議論に資するため、グランドデザイン策定の過程で示した人口分析等の様々なデータや、地域づくりの情報を提供する、新たなプラットフォームを構築することとする（国土の「見える化」）。

さらに、広く国民が参加して幸せな未来を描き、それを実現するための様々なアイデアを競う「日本未来デザインコンテスト」（仮称）を実施するとともに、優れたアイデアについてはその実現を支援する。

加えて、広域地方計画協議会については、大学、若手経営者、女性起業家等の参画を求めること等により、地域における将来のビジョンを論議する場としての機能の充実・強化を図る。

これらも踏まえ、現行の国土形成計画（全国計画及び広域地方計画）の見直しに着手することとする。

経済財政運営と改革の基本方針2014（平成26年6月24日閣議決定）（抜粋）

第2章 経済再生の進展と中長期の発展に向けた重点課題

3. 魅力ある地域づくり、農林水産業・中小企業等の再生

- (3) 観光・交流等による都市・地域再生、地方分権、集約・活性化
(長期的な観点からの取組)

(中略)

人口減少、巨大災害の切迫など、近年の我が国の国土を取り巻く状況の変化を踏まえて新たな「国土のグランドデザイン」を策定し、これも踏まえて、国土形成計画を見直す。また、都市部の地籍整備、G空間情報の活用を推進する。